社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

青森林業土木協会

活動内容

牡鹿半島三陸復興国立公園の美化活動を実施

１　実施年月日　：　平成２９年５月９日
２　実施場所　　：　宮城県石巻市牡鹿半島
　　宮城北部森林管理署管内　駒ヶ峰国有林５２８林班内
３　参加会員数　：　宮城県内会員企業　３社　　３５人
　　宮城北部森林管理署　署長ほか２人　　総勢３８人
４　活動内容：

宮城北部森林管理署は、宮城県北の国有林約７万haを管轄していますが、管内には自然景観に優れた栗駒、南三陸金華山国定公園などがあります。

特に、牡鹿半島は、三陸海岸の最南端に位置し、半島全域が山地で海岸はリアス式海岸となっています。東日本大震災後、海岸部の多くが三陸復興国立公園に指定されましたが、リアス式海岸を眺望できる観光スポットとして震災前から多くの観光客が訪れているエリアです。

今回、ボランティア活動を実施した箇所は、牡鹿半島周遊道路、通称「コバルトライン」の駐車場周辺の国有林ですが、不法投棄されたゴミが多く、県内外から訪れる観光客に不快感を抱かせる状況となっていました。このため、昨年に引き続き、当協会が宮城北部森林管理署、石巻市の協力を得て美化活動をボランティアで実施したものです。

当日は、天候にも恵まれ、佐々木浩章宮城県支部長が活動の主旨説明と安全作業の呼びかけを行った後、相澤　肇森林管理署長から感謝を込めた御挨拶をいただきました。

その後、手分けして不法投棄されたゴミを収集し、会員所有のクレーン付きトラックで回収作業を行いました。トラック５台分にもなるゴミを撤去した結果、周辺は見違えるほど綺麗になりました。

この活動で、観光客に気持ちよく南三陸の素晴らしい景観を楽しんでいただけるようになったと自負していますが、タイヤや家電などはわざわざ運んで来て不法投棄したものであり、このようなことを行わないように啓発していく必要もあると考えています。

活動写真

開会式で挨拶する佐々木宮城県支部長

開会式で御挨拶される相澤署長

活動写真

林内のゴミの収集作業

ユニックによるゴミの回収作業

不法投棄された古タイヤなど

ボランティア作業に参加した皆さん

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

青森林業土木協会

活動内容

眺望山遊歩道の環境整備を実施

1　実施年月日　：　平成２９年６月８日
2　実施場所　　：　青森県青森市
　　青森森林管理署管内　内真部国有林（眺望山自然休養林内）
3　参加会員数　：　青森県内会員企業１６社　　３５名
　　青森森林管理署　署長ほか　　５名　　総勢４１名

4　活動内容：

青森森林管理署は、東青流域にひろがる６万８千haの国有林を管理しています。管内には、十和田八幡平国立公園、津軽国定公園、浅虫・夏泊県立自然公園が設定されているほか、眺望山自然休養林、かやの高原・今別八幡宮自然観察教育林、八甲田山野外スポーツ林などには、県内外から多くの方々が訪れています。

このうち、眺望山自然休養林は、青森県津軽半島南部に位置し、標高は１４３ｍほどですが、周辺は日本三大美林の一つであり、県木ともなっている「天然青森ヒバ」の美林がうっそうと茂り、その他の植物の種類も豊富で、高さ１９ｍの展望台が設置されており、森林浴や植物観察、自然探勝などを気軽に楽しむことができます。

このため、当協会では、平成１３年から、高齢者や身体障害者の方々も車椅子による入林ができるように、ボランティアで環境整備等を行ってきました。昨年は、多目的広場の環境整備を行いましたが、今回は、入林者が迷わないように遊歩道周辺の案内標識の整備を行いました。

開会式では、当協会の田中　進会長から活動の趣旨説明と安全作業をお願いした後、青森森林管理署の高嶋伸二署長から感謝の御挨拶をいただきました。

作業は、あらかじめ作成していた木製の標識を運び込んで、人力で設置しました。この作業によって、入林者の利便性が高まったと思います。

当協会は、今後とも、自然休養林を訪れる皆様が気持ちよく自然を楽しんでいただけるよう、ボランティア活動を継続していくこととしています。

活動写真

開会式で挨拶する田中会長

開会式で御挨拶される高嶋署長

活動写真

標識の運搬作業

標識の設置作業

標識の設置作業

設置された木製の案内標識

ボランティア作業に参加された皆さん